



第64回日本医学検査学会ご挨拶 「SAGA 創 未来(さがそうみらい)」

－時代が求める風になれ－



第64回日本医学検査学会
学会長 百田 浩志
(社会福祉法人 済生会唐津病院/
一般社団法人 佐賀県臨床検査技師会 会長)

第64回日本医学検査学会の開催にあたり、担当となりました一般社団法人 佐賀県臨床検査技師会を代表いたしまして、ごあいさつ申し上げます。本学会の開催は平成27年5月16日～17日とし、会期前日には恒例によりまして輸血・一般・微生物・生理のスキルアップ研修会も開催いたします。会場は、残念ながら佐賀県内に日臨技の開催条件を満たす会場がなく、また来場いただく皆様の利便性を勘案し、福岡県の福岡国際会議場をメインとした隣接する2か所（福岡サンパレス・マリニメッセ福岡）の施設で行います。羽田便だけでも1日55往復を数える福岡空港や、福岡市のメインステーション博多駅とのアクセスも良好です。

メインテーマは「SAGA 創 未来(さがそうみらい)」、サブテーマは「時代が求める風になれ」といたしました。日臨技や技師連盟が数々の方策を執行されておりますが、臨床検査技師は厚生労働省からも「その他の医療職」と括られるなど、まだまだ“縁の下の力持ち”の域を脱していません。本学会では皆様のお力添えにより、臨床検査技師の明るい未来をお示しいたします。参加いただいた会員には「検査技師になって良かった」、学生には「早く検査技師になりたい」と思える、明日につながる知識・技術を得ていたければ幸いです。

本学会には、全国より多くの一般演題をいただきました。公表していた締め切り時には400題ほどで不安を感じておりましたが、締め切りを延長したとたん続々と応募数が増え、710超となりました。心より感謝申し上げます。また、奇しくも超音波の学会と開催期日が重なっておりますが、生理部門からも例年と遜色のない演題をいただいております。更には、次年度神戸において開催される第65回医学検査学会が国際学会と同時に開催されることを見据え、英語発表を日本語の一般演題と区別しないプログラムといたしました。座長をお願いした皆様には大変恐縮でございますが、よろしくお願いいたします。

文化講演は、前佐賀県武雄市長であります樋渡啓祐氏をお願いしております。市長として、市図書館の指定管理者をTSUTAYAにし、館内にスターバックスコーヒーを併設したことは全国を驚かせました。また、タブレット端末を教育に取り入れるなどITにも長け、日本フェイスブック学会会長も務められています。改革・発想力を求め武雄市を訪れる視察団体も多く、地方自治体浮上の規範となっております。

特別フォーラムでは、厚生労働省、医師会、看護師から臨床検査技師に将来、臨床検査技師に求める資質・業務などを述べていただき、宮島日臨技会長が認定や業務拡大の現状や将来構想を含めお答えする企画をしています。

そのほか、各支部の若手技師により、与えられる未来より自分で切り開く未来の構想を発表していただき、これをコンテスト形式として優秀者を表彰する企画をはじめ、教育講演7題、シンポジウム、パネルディスカッション等多多彩な企画を準備しております。

展示発表会には、臨床検査関連企業より例年以上のご協力をいただきました。数社からは本学会に合わせ、未発表の機器を特別展示するとの話も伺っております。皆様の施設におかれまして、購入や更新の参考にされるのはもちろん、企業の方とのコミュニケーションの場としてご利用ください。また、佐賀県の物産が当たるスタンブラーを準備しておりますので、お楽しみください。

学会懇親会は、福岡の海の玄関口であります福岡ベイサイドプレイスが一望できるモールにて開催いたします。佐賀県の食材を利用した料理やお酒をご堪能ください。なお、展示発表会、懇親会共に学会本会場と隣接したマリニメッセ福岡にて開催いたしますので、お気軽に移動が可能です。

最後になりますが、本学会の開催に多大なるご協力をいただいた一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会の皆様をはじめ、多くの方々に感謝申し上げます。参加いただいた方々に満足いただけますよう佐賀県会員一同、最大限の努力をいたしますので、多数の参加をお待ちしております。